

衆議院環境委員会ニュース

【第200回国会】令和元年12月3日（火）、第3回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・環境の基本施策に関する実情調査のため、東京都において視察を行った委員を代表して、鷲尾委員長から報告を聴取しました。
- ・小泉環境大臣、伊東農林水産副大臣、佐藤環境副大臣及び政府参考人に質疑を行いました。
(質疑者) 伊藤信太郎君（自民）、繁本護君（自民）、近藤昭一君（立国社）、金子恵美君（立国社）、関健一郎君（立国社）、堀越啓仁君（立国社）、池田真紀君（立国社）、古屋範子君（公明）、田村貴昭君（共産）

(質疑者及び主な質疑事項)

伊藤信太郎君（自民）

(1) 令和元年台風第19号関係

- ア 被災自治体が災害廃棄物処理の諸経費の積算額や処理方法について見込みで環境省に報告せざるを得ない場合について、災害査定後の変更環境省として柔軟に対応する必要性
- イ 稲わらなど通常の処理圏域を越えて処理することが必要となる災害廃棄物について国が十分に各自治体間の調整を図る必要性
- ウ 気候変動、地球温暖化及び自然災害激甚化のメカニズムについての環境省の見解

(2) 地球温暖化問題関係

- ア パリ協定における「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2.0℃より低く保ち、1.5℃以内に抑える努力をする」目標についてのIPCCの見解を踏まえた根拠及びSDGs（持続可能な開発目標）との関係
- イ 内政と外交のリンケージによる同目標達成のための我が国の具体的な方策とロードマップ

(3) 海洋プラスチック問題について環境省の実態調査の方法及びそれに基づく見解

(4) 内閣府が提唱するSociety5.0と環境問題の解決との関係についての環境省の見解

繁本護君（自民）

水循環政策関係

- ア 健全な水循環の維持・回復の観点から本来の水循環を取り戻す取組の必要性についての内閣府の見解
- イ 令和元年台風第19号による河川の増水に際して荒川の第一調節地及び利根川の八ッ場ダムが果たした治水効果
- ウ 雨庭（レイン・ガーデン）を推進するため、認定制度の創設、関係省庁横断の「雨庭チーム」の結成、実証モデル事業の実施、推進のためのインセンティブの在り方や技術面での課題の整理・検討、国民に対する普及啓発を進める必要性についての内閣府の見解
- エ 京都御苑庭園基幹施設再整備基本計画の見直しに当たり雨庭の整備に取り組む必要性についての環境省の見解
- オ 雨庭の整備及び水循環システムを取り戻す取組を推進する必要性についての小泉環境大臣の見解

近藤昭一君（立国社）

(1) アスベスト対策関係

- ア アスベスト建材除去作業時の大気濃度測定を義務付ける必要性についての小泉環境大臣の見解

- イ 特定建築材料以外のアスベスト建材の除去等の飛散防止対策、事前調査の信頼性確保、除去工事の完了検査の在り方及び完了工事の自治体への届出等の検討状況
- (2) 沖縄県の辺野古・大浦湾一帯が米国NGOミッション・ブルーによるホープ・スポット認定を受けたことについての小泉環境大臣の所感
- (3) 地球温暖化対策関係
 - ア 温室効果ガス排出削減目標の引上げ及び国連気候変動枠組条約第25回締約国会議(COP25)における国際社会への発信に向けての小泉環境大臣の決意
 - イ 石炭火力発電を削減する必要性について的小泉環境大臣の見解

金子恵美君（立国社）

- (1) 環境省の業務の点検・見直しについての検討状況
- (2) 令和元年台風第19号による福島県の除染の除去土壌等が入ったフレコンバッグ流出事案を受けた仮置場の管理の抜本的強化策の検討状況及び中間貯蔵施設の整備の進捗状況

関健一郎君（立国社）

- (1) 育児休暇の取得について的小泉環境大臣の所感
- (2) レジ袋の有料義務化に当たっては業種・業態・規模を問わず例外を設けるべきではないとの意見に対する小泉環境大臣の見解

堀越啓仁君（立国社）

- (1) アニマルウェルフェア（動物福祉）関係
 - ア 畜産動物のアニマルウェルフェアを推進する必要性について的小泉環境大臣の見解
 - イ OIE（国際獣疫事務局）の動物福祉規約等に係る国際動向の周知の現状
 - ウ 災害時の産業動物の取扱いについてのこれまでの検討結果及び本年の自然災害での畜産動物の被害状況
- (2) 希少野生動物種の取引関係
 - ア 希少野生動植物種の密輸入を防止するための取組方針
 - イ 種の保存法の国際希少野生動植物種の登録制度において輸入の合法性を確保する必要性
- (3) レジ袋の有料義務化に当たっては例外を設けることなく一律に有料化するとともに、省令ではなく法改正で対応すべきとの考えについて的小泉環境大臣の見解

池田真紀君（立国社）

消費者被害を発生させたジャパンライフ問題関係

- ア 被害者の多くが福島県に集中している実態及び原発の賠償が狙われた懸念について的小泉環境大臣の認識
- イ 被害の実態について真相解明を行う必要性について的小泉環境大臣の見解
- ウ 桜を見る会の招待者に係る環境省による名簿の提出状況

古屋範子君（公明）

- (1) 令和元年台風第19号等に係る災害廃棄物処理関係
 - ア 災害廃棄物の生活圏からの年内の撤去完了に向けた小泉環境大臣の決意

- イ 地方自治体の災害廃棄物処理計画策定への支援の強化に向けた環境省の具体的取組及び策定の目標年度を前倒しする必要性
- (2) 気候非常事態宣言を表明して気候変動対策に取り組む必要性についての環境省の見解
- (3) 食品ロスの削減に向けたドギーバッグの普及及びエシカル消費の推進に向けた小泉環境大臣の決意

田村貴昭君（共産）

- (1) 地球温暖化対策関係
 - ア 若者達の行動を受けて地球温暖化の解決に向けた取組を行う必要性についての小泉環境大臣の見解
 - イ エネルギー基本計画の需給見通しに従い石炭火力発電所が新增設された場合、2030年度における2013年度比26%減の温室効果ガスの削減目標が達成できない懸念
 - ウ COP25に向けて石炭火力発電所の新增設中止の方向性やIPCCの1.5℃報告書に基づいた温室効果ガス削減目標に向けた努力を示す必要性についての小泉環境大臣の見解
- (2) メガソーラー発電関係
 - ア FIT制度の導入後におけるメガソーラー発電施設の設置を目的とする林地開発許可処分面積の状況並びに林地開発許可に係る違反行為に対する監督処分及び行政指導の件数
 - イ 福岡県飯塚市の白旗山及び金比羅山において調整池の完成を待たずにメガソーラー発電施設を建設する業者に対する資源エネルギー庁の対応
 - ウ 法令に違反して開発を行うメガソーラー発電事業者に対して処分を行うなど厳しく対応する必要性についての資源エネルギー庁の見解
 - エ メガソーラー発電施設に関わる林地開発許可に当たり許可基準の4条件に加えて住民合意を求めるとともに、現在発生している問題に真摯に対応する必要性についての伊東農林水産副大臣の見解
 - オ 行政指導に従わず住民合意も軽視するメガソーラー発電事業者を厳しく指導する必要性についての資源エネルギー庁及び伊東農林水産副大臣の見解
 - カ 環境影響評価法に基づく環境アセスメントの対象外となる小規模の太陽光発電施設の設置に関して適切な運用が図れるよう地方自治体を支援するとともに、関係省庁が連携して対処する必要性について小泉環境大臣の見解
- (3) 水俣病特措法の指定地域外における健康被害に係る実態調査を行う必要性